

オリジナルフレーム切手贈呈式を開催

新町発足70周年を記念し、日本郵便株式会社様から作成いただいた、オリジナルフレーム切手の贈呈式が役場「応接室」で行われました。

この切手は、大石田の四季や特産品、美しい風景などを取り入れた切手で、当日は、日本郵便関係者から庄司町長へ切手の原本が贈られました。

贈呈式で庄司町長は、「この切手が、町の小さな親善大使として大石田町の魅力を伝えてもらえればと思います」と話しました。

現在、あったまりランド深堀、大石田駅売店、北村山地域の郵便局（簡易郵便局及び東根市の一部の郵便局では取り扱いがありません。）で販売しています。

（写真提供：日本郵便株式会社東北支社）▶



大石田中の生徒が緑化活動ボランティア

大石田中学校生徒のボランティア活動「愛宕の森づくり活動」が、10月15日（水）に愛宕神社敷地内で行われました。

この取り組みは、大石田ゆずり葉の会（矢作善一会長）の協力のもと行われたもので、令和2年から行われ、5年目を迎えました。今年は参道の整備と植樹を行いました。生徒たちは、グループに分かれ、整地して、ウッドチップを敷き詰めたり、苗木を植え、樹名板を取り付けたり、作業に汗を流しました。

また、この取り組みは、令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業の一環として行われたものです。参加した島田龍生さんは、「自分の地元である大石田のために貢献できることがとても嬉しく思います」と話していました。



秋の音楽を楽しむ水明苑でミニコンサートを開催

秋の収穫祭ミニコンサートが10月15日（水）に水明苑で行われました。

これは、利用者の方に音楽に親しみ、楽しんでもらおうと企画されているものです。

当日は、ヴァイオリニストの駒込綾さん、ピアノの伊藤恵さん、パーカッションの神原瑠子さんによる演奏が行われ、利用者の方はとても楽しそうに演奏に聴き入っていました。

また、今回は虹のプラザ登録アーティスト派遣事業の一環として行われたものです。



足から健康に介護予防教室を開催

介護予防教室が、9月から10月にかけて4回にわたり、虹のプラザで開催されました。

本教室では、足の健康として、一般社団法人フットヘルパー協会認定講師山形校足育て隊あすいぐかあちゃん渡邊悦子さんを講師として行われました。

自分の足を確認し、爪の手入れとして、実際に足のケアを行いました。

参加者は、「普段足を労わってこなかったので、とても良い機会になりました」と話していました。



町スポ少主催の大会を開催大石田キンダーズが優勝

大石田スポーツ少年団でもある大石田キンダーズが、自身が主催する「大石田最上川カップ」を10月19日（日）に実施しました。

今回が2回目の開催となり、4つのチームが競い合い、大石田キンダーズが優勝を勝ち取りました。

大石田キンダーズは、大石田町と友好協定を締結している涌谷町の野球のスポーツ少年団である涌谷ブルースターズとも交流があり、毎年スポーツ交流を行っています。今年は、10月6日（月）に涌谷スタジアムで実施しています。



最上川舟運と座敷文化を感じて町民大学地域学講座を開催

町民大学地域学講座が10月18日（土）に佐藤家の蔵で行われ、町文化財保護審議会の佐藤里美会長が、大石田町が最上川舟運の中継地点として栄えた頃の様子について佐藤会長の生い立ちなどを交えながら講演を行いました。

また、会場となった蔵に所蔵されている最上川舟運がもたらした貴重な品々について、その歴史や経緯など丁寧に説明していました。

参加者は、「普段なかなか見ることのできない品々を見て舟運文化や当時の歴史を感じることができた貴重な体験でした」と話していました。